

からすま病院 NEWS

発行：社会福祉法人京都社会事業財団
京都からすま病院
〒603-8142
京都市北区小山北上総町 14
TEL 075-491-8559
FAX 075-492-4304

「当院外科では、小さな傷で、早期に日常生活に戻れるように、
様々な手術を腹腔鏡下に行っています。」



社会福祉法人 京都社会事業財団
京都からすま病院 病院長

岡村 隆仁

今年も暑い夏がやってきました。梅雨があけると猛暑日が続きます。皆さんはこまめな水分補給と健康管理にご注意ください。

当院では、「思いやりのある医療を実現します」を病院理念として掲げ、地域の皆さんに安全安心の医療の提供に努めています。現在、日本では急速に進行する超高齢化社会を迎えています。高齢の患者さんは数日寝込むとそのまま寝た切りになる恐れがあります。そのため私たちは「歩いて来た患者さんは歩いて帰そう！」というプロジェクトを始めました。これは入院の原因となった病気の治療を始めるとともに、医師と一緒にリハビリスタッフや看護師が協力する取り組みで、日常生活動作が低下しないように理学療法士が早期にリハビリを開始し、続いて看護師による生活リハに繋げるものです。条件に合った患者さんを対象に、この取り組みを行い、笑顔で退院していただくことを目標としています。

また外科では、小さな傷で、早期に日常生活に戻れるように、様々な手術を腹腔鏡下で行っています。胃がんや大腸がんの患者さんも、腹腔鏡下で手術を行うと、翌日から歩いていただくことができ、2、3日でお食事を開始できます。また乳がん手術は、薬物治療と組み合わせ、可能な限り、乳房温存手術を行っています。これらは、病院理念の「思いやりのある医療を実現します」に繋がるものと確信しています。

健診も大きく変わります。7月から、「普段着で健診を！」という取り組みを始めます。健診の際、着替えの煩わしさを解消し、リラックスして受診することが可能になりますので、安心して気軽にお越しください。

私たちは、病院一丸となって、思いやりのある医療の実現を目指します。

リハビリ

歩いて来た患者さんは歩いて帰そう！



上記の言葉を合言葉に、骨折や脳卒中などで身体機能や認知機能に不自由が生じた方に対し、家庭復帰や社会復帰、寝たきり防止などを目的に退院先の環境に合わせたリハビリテーションを行っています。当科には、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が各病棟(回復期リハ、一般、地域包括ケア)や外来診療にて、様々なプログラムに取り組んでいただいています。また、定期的な研修会の開催や参加により知識や技術の向上に努め、思いやりの医療の実現を目指しています。

京都桂病院の宮崎先生のご講演

5月に京都桂病院の宮崎先生をお招きし、情報共有や共通の目的認識が重要であることを、先生のご経験を交えてお聞きしました。また、多職種連携が欠かせないことをリハビリ科だけでなく、院内様々な職種と共有することが出来ました。今後、患者さんへのより良いサポートに取り組む大いなる動機付けとなりました。



からすま病院健康クラブ

年6回偶数月(雨天中止)に地域の皆さんへスタッフが、健康を保つために、必要なことをお伝えします！



フレイルにならない・させない習慣づくりのヒントがいっぱいです！

次回、開催日の情報はもちろん、今までの実施した内容を動画で確認していただくこともできます。

※下記、QRコードから当院ホームページにアクセスください！

2022年6月23日(木)船岡山公園にて



ホームページリニューアルのお知らせ

皆様に、以前より快適にご覧いただけるよう、ページ構成ならびにサイトデザインの見直しをいたしました。
今後もより一層充実したホームページにしていきますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

今すぐアクセス！

 京都からすま病院
KYOTO KARASUMA HOSPITAL

〒603-8142 京都市北区小山北上総町 14

TEL 075-491-8559 FAX 075-492-4304

